

平成19年度「元気なふるさと秋田づくり顕彰事業」受彰者一覧

	団 体 名	代表者	活 動 内 容
1	増田地域センター 運営協議会	代表 加藤 勝義	伝統芸能継承保存のため、子どもたちを主体に伝統芸能体験や講習会を毎年開催し、発表会として「横手市増田民俗芸能フェスティバル」も企画・運営している。
2	三又建設株式会社 社員会	代表 高橋 藤悦	春と秋の2回、県道横手東成瀬線と国道107号などでゴミ拾いや、道路緑化帯に花を植栽している。また、小学校や子ども会の空き缶・空き瓶リサイクル活動の際は、回収作業にトラックを提供している。
3	十文字町中央自治会	会長 久米 靖穂	十文字インター入口から旧国道13号までの約200mの道路の両側に、花プランターを設置するなど花いっぱい運動を行っている。活動実績は15年となる。
4	JAおものがわ 助け合い組織 「いなほの会」	代表 小野 良子	地域の高齢者が元気で長生きできるようお手伝いしたいとの思いから、冬期間、公共施設や地域の公民館などで、高齢者同士の交流や高齢者の健康づくり活動を行っている。
5	おちゃっこママ	代表 奥山 ひとみ	「家庭の味」や「郷土の味」を母親から子どもたちに伝え行くため、主に乳幼児の親子を対象とした手作りおやつや料理の講習会を開催している。講習会の機会を活用し、育児についての情報交換を勧めている。
6	大雄母親クラブ 「はんど・はんど」	代表 遠藤 千秋	子育ての悩みや、これを解決する方策を母親の視点で考え、子育て支援事業への協力や講習会開催、読み聞かせなどの活動を行っている。また、防犯や交通安全にも協力している。

平成20年度「元気なふるさと秋田づくり顕彰事業」受彰者一覧

	団体名	代表者	活動内容
1	黒川にさけを呼ぶ会	会長 佐藤 良治	黒川地区を流れる横手川に鮭が遡上する光景を取り戻そうと、平成8年に結成。環境を整えるため、ごみ拾いや草刈などを行っており、年々遡上する鮭が増えている。
2	森の王国 サルパ	代表 奥山 勝栄	森林・川・田んぼ等の地域の生活圏を森の王国と位置づけ、従来の山村のイメージからの脱却を図り、時代とともに失われていく伝統行事の継承や地域に伝わる技や遊びを発信している。
3	歴史文化の里づくりをすすめる会	会長 高橋 宗一	後三年の役九百年祭を機に地域の活性化を図り、まち興しの母体となる組織を作ろうと昭和63年6月に発足。市民生活・文化活動の推進、地域伝統芸能保存育成、金沢公園史跡整備の3つの専門委員会を設けて活動している。
4	田中ボランティアグループ	会長 菅原 テル子	昭和55年に町内会の婦人層を中心として発足。安全・安心な地域社会の実現に向け環境整備を推進し、地域の高齢者が元気で暮らせるようにとの思いから地域ぐるみでボランティア活動を行っている。
5	大森町グリーンツーリズム推進協議会	会長 後藤 洋子	農山村の豊かな自然やそこで営まれる田舎暮らしの素晴らしさを多くの人に伝え、都市に住む方々と交流を深めながら、そこに住む自分たちも交流活動を楽しみ、豊かで元気ある地域にしようと、平成14年に設立。主に、中高生の農作業体験学習の受け入れを行っている。
6	横手凧の会	会長 木島 久一	昭和60年結成。凧文化を通して、子どもたちに楽しいことをたくさん体験してもらい、生まれ育った横手を愛する心を育ててほしいとの思いから、各種活動を展開している。
7	横手除雪ボランティアの会	会長 小野 宏一	雪よせで困っている一人暮らしの女性高齢者や在宅介護のお宅などを中心に、除雪の手伝いを行っている。会員の中には横手清陵学院高校のバドミントン部の生徒も加わり、活動をしている。
8	かまぐらの里 横手まちの案内人 ふきのとうの会	会長 高橋 丈四郎	観光横手をPRするため、横手市内の名所旧跡を案内している。案内はなるべく横手弁で行っている。また、観光事業の支援活動ボランティアも行っている。
9	横手地区国際交流をすすめる女性の会	会長 柴田 照子	すべての外国人(研修生、ALT、嫁いできた人、働きに来ている人など)に日本の良さ、伝統行事、習慣などを知らせ、日本での定着を支援している。
10	横手昔語りの会 「とっぴんぱらりの プー」	代表 尾形 雅子	秋田弁で語るふるさとの伝説や昔話を楽しんでもらおうと、平成12年4月に発足。毎月第4土曜日に語りの会を開いているほか、社協主催の「いきいきサロン」や高齢者施設、保育園、学校などにも出向いている。
11	朗読ボランティア 「まんさく」の会	会長 土屋 和夫	毎月1日と15日に発行される横手市の広報を音訳し、テープに吹き込んだものを視覚障害者の希望者に送付している。その他、障害者とふれあいを持つ活動にも参加している。

平成21年度「元気なふるさと秋田づくり顕彰事業」受彰者一覧

	団体名	代表者	活動内容
1	ハンドベルサークル ベルっこ♪まま	荒川 桂子	未就学児童を対象とした育児サークルとして平成13年より活動開始。月2回ハンドベル練習を行い、各種イベントにも積極的に参加し演奏している。定期的にキッズサークルや高齢者サークルを訪問し演奏している。
2	大屋梅保存会	会長 伊藤 鐘吉	大屋梅再生のための梅の木植樹、病虫害の生態・防除の研修会、剪定講習会などを毎年実施している。梅の加工食品を企業と共同で開発するなどし、道の駅などで販売している。観光ボランティアの活動も行っている。
3	増田町婦人会	会長 鶴飼 美和子	国道342号線沿いに花壇を作り、環境美化と交通安全の意識啓発に貢献している。地域の消防団と連携し、火災予防活動の実施や、災害時の炊き出し活動を行っている。地域を県内外にPRするため「蔵のまち増田」をモチーフにしたパッチワーク製作も行っている。
4	はなしっこの会 あじさい	会長 柴田 照子	小学校や保育所などへの出前活動や、道の駅での昔がたり実演、図書館での定期的なおはなし会などを行っている。地域の高校生へ実演指導や共同活動も行っている。
5	プロジェクト123 (ワンツースリー)	代表幹事 大友 浩	地元に住む独身男女を中心として出会いの場を提供し、少子化と非婚化・晩婚化対策に取り組んでいる。年4回パーティーイベントを開催し、近々6組目の夫婦が誕生する予定である。

平成22年度「元気なふるさと秋田づくり顕彰事業」受彰者一覧

	団体名	代表者	活動内容
1	横手おやこ劇場	代表 齊藤 雅子	優れた児童文化(プロの生の舞台)との出会いの場をつくったり、楽しい自主活動を開催したりして、子どもたちの豊かな創造力と人間性を育む活動に取り組んでいる。今年度は自主活動としてわくわくりんご体験や子どもの芸術体験広場、かまくらまつりなどを行い、異年齢の子どもたちとの出会いや遊び、体験の場を地域に創出している。
2	横手運送株式会社	代表取締役 社長 塩田 謙三	塩田交通遺児愛護会を設け、不幸にも交通事故で父母を失った子どもたちへ愛護給付金を支給している。また、今年度から県の「アダプト・ロード・プログラム事業」の認定を受け、市内の道路のクリーンアップ活動を行っている。この他、企業の方々を対象に、エコドライブ講習会を開催したり、様々なリサイクル活動や、横手市の「出前かまくら」用の雪の運搬に協力したりしている。
3	あっぱれ劇団	代表 高橋 春子	交通安全や防犯、自殺予防など、様々なテーマの要望に応じて、方言を交えたコミカルな演劇を作って公演活動を行っている。演劇の他、積極的に交通安全活動や地域安全防犯活動に参加している。
4	あきた十文字映画祭 実行委員会	代表 小川 孝行	平成3年から「十文字映画祭」を開催し、先日区切りとなる20回目を盛況のうちに終えている。映画に親しむ機会をつくとともに、映画を通じて人々との交流を図っている。また、十文字を「映画のある町」という新たな地域イメージを創出し、地域の活性化につなげている。

平成23年度「元気なふるさと秋田づくり顕彰事業」受彰者一覧

	団体名	代表者	活動内容
1	おはなし ぽぽぽ	代表 石垣 節子	子どもへの読み聞かせやおはなし会、図書館でのおはなし会などを日々の活動として定期的実施し、子どもが読書に親しむ活動を続けているほか、地域で行う子どもや障がい者、高齢者等を対象にした福祉活動にも積極的に取り組んでいる。また、横手市やふるさと村が主催するイベントにも、おはなし会や作業協力で参加しているほか、子育てに関わって母親との交流も行っている。
2	着付けボランティアの会・つむぎの会	代表 高橋 美代子	横手送り盆まつりやよこて全国線香花火大会において、地元参加者や見学者を対象にした浴衣貸し出しと着付けボランティアを始め、大学の留学生に対するきもの体験ボランティアなどを通して、着物や日本文化を広めるとともに、地域のお祭りを盛り上げ、横手を楽しく知ってもらう地域貢献活動を行っている。一般市民を対象とした毎月の無料着付け教室を、会員の研修を兼ねて開催している。
3	劇団 Hozzy&Nancy	団長 斎藤 晋平	年1回の本格的な演劇のほか、ワークライフバランスやメタボ対策、除雪ボランティアなど社会問題や健康問題等をテーマにした演劇から、地域のイベントや養護施設・高齢者施設などでの娯楽性の高い演劇まで、地域を元気にする演劇や参加者、主催者の意図に即した社会性のあるコミカルなオリジナルの台本により公演活動を行っている。演劇の他、FM放送でも番組を制作し、積極的に地域のよさを発掘・発信する活動を行っている。

平成24年度「元気なふるさと秋田づくり顕彰事業」受彰者一覧

	団体名	代表者	活動内容
1	佐々木 悦子	個人	長年にわたって県道164号線沿いの花壇整備を行っており、92歳となった今も続けられている。毎年、自費で芝桜の種を購入して花壇に植えているほか、水やりや除草等の手入れも一人で行っており、花壇いっぱい芝桜で通行者の目を楽しませている。また、県道沿いにある自宅の庭先にも様々な花を植えるなど、地域の環境美化活動を積極的に行っている。
2	山内唄おう踊ろう会	会長 土場 勇太郎	会の発足以来、唄や太鼓、踊りの練習を行いながら会員相互の交流を深めている。地域の文化祭や敬老会、高齢者施設での慰問公演を行っているほか、今年は、笑いで地域の活性化等を目的とする横手ジャリ銭バトル寄席での講演を行った。また、芸能発表だけでなく、生き生ききれい教室(高齢者のメイクアップ)の開催や、さんない保育園での太鼓指導など、年齢を重ねても、これだけの活動ができるという姿をたくさんの方に見ていただくことで、元気なふるさとづくりに貢献している。
3	秋田県立増田高等学校 農業科学科	校長 小西 弘高 担当教諭 渡部 剛	(1)科目「実践農業」「課題研究」の研究内で、地域貢献を目指し、地域の課題解決や地域との交流を図っている。 (2)上記以外の授業の実習で、幼稚園の花壇整備や保育園児・小中学生との栽培交流学习(米・リンゴ・さつまいも・大豆)などを行っている。 (3)地域に開かれた学校を目指し、農産物販売や収穫祭などで積極的に地域の方々と交流している。
4	横手の子育て応援誌 「おもちゃばこ」	代表 高橋 幸子	横手市で小学校入学前の子どもに関わるすべての方向けのフリーペーパーを年4回発行している。記事は形式にとらわれず、現役パパ・ママが実際に悩んだり、疑問に思ったりしたことを参考に作られている。発行月の2ヶ月ほど前から企画会議を行い、時には取材にも行く。原稿作成は担当者が子育ての合間に自宅で作業する。すべてをパソコンに頼らず、手作り感を大切にしている。年々読者も増え、他地域の育児サークルからも問い合わせや感想をもらうようになった。取材・執筆製本はメンバーで行い、印刷は横手市が行う。発行部数800部。
5	公益社団法人 日本動物病院福祉協会 秋田チーム	チームリーダー 村岡 登	人と動物との絆を大切にする活動(CAPP)として、人と動物とのふれあいから生まれる効果を利用し、子どもたちへの命の教育、高齢者の生き甲斐づくり、心身に障害を持つ方々のリハビリテーションのためのボランティア活動を行っている。基本的には会員による活動であるが、学校のボランティア活動の一環として、中学生の参加も受け入れている。

平成25年度「元気なふるさと秋田づくり顕彰事業」受彰者一覧

	団体名	代表者	活動内容
1	林 健悦	個人	「地域が元気で豊かになってほしい」との願いから「白鳥健太郎(はくちょう けんたろう)」の芸名により、道の駅十文字をはじめ、地域の各種イベントや老人福祉施設、各地区の交流会・サロン等に出向いて、歌や巧妙な話術によるトークショーなどで住民に元気を与えている。このほかにも、地区の老人クラブ会長として高齢者福祉の増進に尽力されているほか、小学生の登下校中の「見守り隊」として、毎日通学路に立って、交通安全の声かけを行うなど、地域でも親しまれ、模範となる活動を行っている。
2	おはなし大すきの会	黒沢 光枝	毎月第2日曜日に横手市図書館で、絵本や紙芝居、横手の昔語り、人形劇、OHPによるお話の会などのボランティア活動を行っている。また、横手地域内の小・中学校への出張おはなし会も定期的に行っており、こどもたちの心の醸成に寄与されている。(これまでに100回以上出向いている学校もある)その他にも、老人施設への訪問や地域のサロンでの読み聞かせを行うなど、幅広い世代を対象として活動しており、地域の方々からは大変好評を得ている。
3	木下ふれあい隊	菊地 幸男	地域集落の高齢者・障害者・世代間交流を踏まえ、有識者・専門分野の方々からお話を聞き、知識の吸収と地域のコミュニケーションにより、生きがいと親睦・融和・結いの気持ちを育てるふれあい活動を行っている。「即決と行動力そして継続は力なり」をモットーとしている。具体的な活動としては、健康講話とららく体操の実施、その時節のイベント開催(お話会や手芸教室他)、冬期間の排雪・除雪活動、集落見回り活動、買い物支援などがある。集落の事業や環境保全事業にも積極的に参加している。
4	チームファインプレー	永沢 豊	「若者の視点で考え、行動し、人の輪を広げて、地域の活性化や社会貢献をすることを目的として活動する」ことを理念としている。これまでの活動としては、豪雪被害にあった農家への除雪ボランティア、よこてイーストにぎわい広場への「ラブかま」の制作。「よこてジャリ銭バトル寄席」や「よこてイーストまつり」などの各種イベントへの積極的な参加。今年の春からは十文字映画祭に向けて、地元をテーマにした自主制作映画に取り組んだ。また、東日本大震災の際には、支援物資の仕分けボランティア、大槌町での泥だしボランティアに参加した。

平成26年度「元気なふるさと秋田づくり顕彰事業」受彰者一覧

	団体名	代表者	活動内容
1	「忠義な猫」でまちおこし推進委員会	畠山 博	浅舞にある忠猫の碑を地域おこしの資源として活用している。平成23年10月から活動を開始しPRのためのカラオケ大会を3回、あやめ祭りのイベントに3回参加そのほか地域の自治会でイベント紹介を行った。また、平成24年11月に県主催の「秋田の昔っこ祭り」に参加したり、平成26年近代美術館の「猫まみれ展」でパネル展示をしたりメンバーの菓子屋が作った猫サブレを販売したりしている。
2	株式会社マルシメ(十文字)	遠藤宗一郎	地元企業として買い物に不便な地域に対してシャトルバスの運行をしている。(十文字・東成瀬・増田地区)増田地区の高齢者のみなさんからは、買い物の利便性の向上はもちろんのこと週1回往復のバスを利用する事により、これまでなかなか会えない地域の方との交流も深まったとの喜びの声もある。
3	ママチャくらぶ	高橋八寿子	わんぱく館(南町)に設置されている、ママとチャイルドのためのサロン「ママチャサロン」の運営をするサークル。全国の有名お菓子のお取り寄せスイーツが楽しめる「Y'sカフェ」(月1回)や未就園児をもつ親子の遊びの時間「ママスポット」などの企画・実施、セルフカフェの準備などを行っている。この春には、子育てを頑張るママたちに癒しの時間を提供したいという思いで「フットケア」を学んだメンバーによるひざから足裏までのマッサージを始めた。(冬は休み)母親たちのアイデアによる工夫を凝らした運営が特徴。他にも、わんぱく館の行事のサポートをするなど、地域の親子が子育て期を楽しく有意義に過ごせる場づくりに尽力している。

平成27年度「元気なふるさと秋田づくり顕彰事業」受彰者一覧

	団体名	代表者	活動内容
1	社会福祉法人相和会	萱森 眞雄	平成25年11月から地域の高齢者宅の雪下ろし等に取り組む横手市内の共助組織(保呂羽地区、南郷地区、三又地区、狙半内地区)と「安心作業支援協定」を締結し継続的に作業保険を負担する等、地域課題を住民主体で取り組む活動に対し積極的な支援を続けている。また、平成27年6月からは、中山間地域に住む高齢者たち(4共助組織)が作った野菜を老人ホームや保育園などの食事に使う「生きがい食材納入」に取り組む活動を行い、高齢者たちの農作業の励みになるとともに収入につなげている。
2	雄物川町明道塾	宇佐美四十二	昭和63年に雄物川町において「まちづくりは人づくり」の標語の下、自ら学び地域課題の掘り起こしと町の発展を考えることを目的に設立された。地域を元気にしたい、明るくしたい、笑顔のまちにしたいという願いのもとさまざまな事業に取り組んでいる。具体的な活動として、横荘線メモリーウォーキング、クリスマスチャリティコンサート、銀河系宇宙ほら吹き決勝大会、かんじきマラソン大会などがある。特に「ほら吹き決勝大会」は毎年開催され24回を数える人気イベントとなっている。地域おこしをテーマとして地域の活性化に貢献している。マスコミにも取り上げられ、地域を元気づけている。
3	劇団 かんじき	土谷 久雄	劇団「かんじき」は、地元根付いた劇団を目指したいという思いから平成12年に結成された。劇団「かんじき」のこだわりは、劇中の台詞をすべて秋田弁にし、高齢の方々が昔を懐かしむような内容であることとしている。地元、山内地区では2年ごとに公演を開催して観客を笑いと感動で元気づけている。その他にも、様々な地区の交流会や消費者大会等で公演して高齢者を中心に元気づけたり、高齢者の消費トラブルを防ぐことに貢献している。また、教育活動の一助になればということで、小学生や中・高校生に演劇の指導を行っている。
4	YOKOTE 音 FESTIVAL 実行委員会	高橋 淳	YOKOTE 音 FESTIVAL 実行委員会は、「子どもから父母、高齢者まで一体になれる音楽イベント」を創り上げ、横手の街を音楽であふれさせ、元気な横手をつくりたいという想いで毎年8月にフェスティバルを開催している。開催場所は、大型店舗や総合病院の移転等がかつての賑わいを失いつつある横手の駅前周辺(東口側)の6カ所を会場にしている。今年で開催5年目を迎え、多くの出演者があり、県外など遠方からの演奏者や観客が多数参加するようになってきている。商店の人達もお店の前で商売をしたり、ご当地グルメの出店をしたりして横手に賑わいをもたらすイベントとなっている。

平成28年度「元気なふるさと秋田づくり顕彰事業」受彰者一覧

	団体名	代表者	活動内容
1	学校通り自治会	千田早智夫	昭和53年より、十文字町三重地区学校通り集落において、そこに暮らす住民の親睦と連絡を密にし、さらにその生活の向上と福祉の増進を図ることを目的として活動を開始した。自治会独自での運動会は平成28年度で38回目を数え、冬には雪中運動会、秋にはグランドゴルフ等を行ってきた。管内各種機関との連携も密にしており、火災予防、環境衛生の強化、交通安全に関する事業、福祉活動に関する事業等、地域一体となった活動を継続し、地域の活性化に尽力している。
2	辻田与五郎	個人	昭和54年より、成功哲学・血液型と人間関係・健康法・選挙漫談等をテーマに秋田県内、横手市内はもちろん、全国各地で講演・漫談活動を行ってきた。秋田県における自殺率やガン罹患率の高さを憂い、「笑う」ことこそがその改善につながるという信念のもと、どこへでも足を運び、自治体・企業・商工会・商工会議所・JA・老人クラブ・PTA・福祉施設等が主催する事業に参加する人々を元気づけるために活動している。特に、地域の居場所づくりを目的とした「いきいきサロン事業」に対しては関わりが深く、地域の方々からも親しまれる人柄で、その話術により参加者に笑顔と活力を与えている。
3	あきたの昔語り「つむぎの会」	畑 則子	平成23年より、昔語りを語る人はたくさんいるが、もっと秋田の昔語りを秋田の食文化、地域の食と結び付けた語りなどをわかりやすく語っていきたくと始めた。年2～3回の「民話街道語り」では横手の食と街道を観光につなげ、12月初旬の「雪花語り」ではひと味違う昔話世界の提供と異文化交流のコラボで横手の文化の魅力を伝え、また年間を通して各種イベントでは「協力語り」を実施している。聞く人と語る人のご縁を紡ぐ昔話りのコミュニケーションを語り継ぎながら、昔話という古くささから少し洗練された芸術としての鑑賞の幅を広げ、横手の魅力向上に寄与している。
4	子育てサポートはぐ	奥山ひとみ	平成23年より、横手平鹿地域で子育てに関して気軽に相談し話し合える仕組みや地域につながる活動が足りないことから、子育て中のママや先輩ママが自由に話せる場を設定し、ネットワークを構築してきた。子育てサークル団体と企業や関係機関をつなぎ、情報共有や交流事業を通じて、安心して子育てができる地域にしたいという思いで、子育てママ一人一人に寄り添った支援をしたり、3.11で避難されている方々が横手で安心して子育てできるように支援したり、子どもの貧困をテーマに「子供食堂」事業を推進したりしている。
5	わたぼうし	渡部正行	平成5年より、横手市社会福祉協議会主催のボランティア教室修了者が会を結成し、横手平鹿地域の知的障害児(者)施設、高齢者施設への定期的訪問活動とイベント等の支援と参加、福祉活動団体との交流と会員の研修を行い、親睦を図ってきた。30～70代の男女の幅広い世代がボランティア活動を通して、各施設で支援交流をすることで地域とのつながりを図り、訪問先からは傾聴活動等の継続を期待されている。また、若者のボランティア活動の受け入れにも寄与している。

平成29年度「元気なふるさと秋田づくり顕彰事業」受彰者一覧

	団体名	代表者	活動内容
1	横手市立浅舞小学校	嶋田 浩一	平成24年より「浅舞小学校ひまわりプロジェクト」を立ち上げ、ひまわりの栽培及び写生・絵画展などを行っている。また、業者に依頼し種からひまわり油を作り、朝市で販売し、その収益から平鹿地域の施設等へ物品を寄贈している。小学生が地域の方々とふれあいながら農作業を体験し、収益を地域に還元することで自然や地域を愛する心が育まれている。この活動が地域の活性化に一役買うことを希望している。地域住民や様々な団体・機関等を巻き込みながら活動を展開しており、児童だけでなく地域全体に元気を与えている。
2	おもしろ実行委員会	小笠原 大輔	雄物川町の地域資源を利活用し、地域を元気にするイベントを通しながら、地域のPRと賑わいの創出に貢献したいという熱い思いから有志が集まり立ち上げた。「地域おこし、人づくり」をコンセプトに、地域を担う若者や高校生が、行政と協働してイベントを開催することで、若者に郷土愛を育むことを目指す。加えて、地元就職率の上昇やAターンの推進など、人口減少対策としても期待される。また、「さくら祭り」等既存事業への参加や協力を推進する体制を整えるなど、若者が地域と積極的に関わりをもてるような組織づくりにも取り組んでいる。
3	よこて 和生(なな)の会	小池田 和子	平成27年4月より、主に横手市神明町の男女共同参画センターを活動拠点としている。メンバーは「メンタルヘルスサポーター養成講座」の修了生で、月に2回コーヒースロンを開き、悩みやストレスを抱えている方々の話を傾聴したり話し相手になっている。傾聴とつながりが基本姿勢で、必要があるケースと判断された場合は、専門機関へのつながりも行っている。想像以上に悩みを抱える方が多いことに驚き、地域全体の連携の重要性に鑑みながら、心の健康づくりと自殺予防に寄与している。市内各地域にサロンを展開していくことを視野に入れ、勉強会等で自己研修も重ねている。
4	森田 照雄	個人	平成11年より、本格的にわら細工に取り組んでいる。伝統技術として、未来の担い手に引き継ぐことをめざし高校の出前授業を担当したり、近隣の「わらの会」の発足に携わるなど、秋田のわら文化を広めるために活動している。わらのもつ温かさは心を安らかにする素材であることや、先人の知恵を受け継ぎ後世へ伝えていくことの重要性が、活動動機の根幹をなしている。わら細工を通じて多くの人たちと交流をもてることを伝えるため、興味をもっている地域住民にもその門戸を開いている。「先人の知恵を目にして我もまた、後に伝えしわら細工の技」を座右の銘としている。
5	日本語教室ボランティアの会	新田 祐子	平成20年より、週5日、男女共同参画センターとY2(わいわい)ぶらざで、秋田県南部在住の外国人に無料で日本語を教えるボランティアを展開している。言葉はわからないが、日本が好きで、強いチャレンジ精神をもって日本に滞在している外国人にマンツーマンで日本語を教えることを通じて、日本人と外国人が相互に学び合いながら交流できることを期待している。企業の社員や研修生として働く中国、ベトナム、ロシア出身者やALTとして小中学校に勤務するアメリカ人へも教えている。サイト上にはマッチングボードも掲げ、より希望者の側に立てるように配慮している。